

[R6:899億円→R7:962億円(前年度比63億円(7.0%)増)]

困難を抱える子どもへの支援

[R6:111億円→R7:118億円(前年度比7億円(6.4%)増)]

不登校やいじめといった学校に関する問題、待機児童や児童虐待といった子育て環境に関する問題など、困難を抱える子どもへの支援を充実させます。

- 困難な状況にある子どもや家庭への支援
- 児童虐待防止・社会的養育の推進
- 幼児教育・保育の充実
- 学校における働き方改革と教員不足への対応

「子どもを虐待から守る条例」の改正 令和7年 議案提出予定

令和5年5月に発生した児童の死亡事例、児童虐待相談件数の増加、児童福祉法の改正などを受けて、児童虐待対応の強化を図るために改正。

【改正の論点となっている項目】

- ・条例の対象範囲(虐待の未然防止、早期発見・対応などを推進)
- ・子どもの権利擁護(児童福祉法の改正を受けた子どもの意見聴取)
- ・子育て支援による未然防止の重点化(支援が必要な保護者の早期発見・対応)
- ・市町や警察など関係機関との連携強化(連携体制を整備する指針)
- ・人材育成(人材育成計画に基づく研修体系)

主な事業

- 「子どもを虐待から守る条例」の改正をふまえた人材育成や関係機関との連携(【新】20百万円)
- 学校に代わる居場所としてのフリースクール支援(【新】15百万円)
- 保育士確保に向けた「三重県保育士・保育所支援センター」における人材バンク機能強化(【新】7百万円)

防災・暮らしの安全安心

[R6:788億円→R7:844億円(前年度比56億円(7.1%)増)]

南海トラフ地震対策、医療提供体制の確保、増加する犯罪の防止など、人権が尊重され、県民の暮らしの安全安心を守る取組を強化します。

- 南海トラフ地震対策の強化に向けた取組
- 人権
- 医療提供体制の確保
- 暮らしの安全安心
- 健康づくり
- 福祉
- 環境
- 戦後80年

「三重県性暴力の根絶をめざす条例(仮称)」の制定 令和7年9月 議案提出予定

被害者の尊厳を著しく踏みにじり、その心身に長期にわたり重大な悪影響を及ぼす性暴力・性犯罪の根絶に向けて条例を制定

【基本的施策】

- ・性暴力の予防(予防教育等の推進、県民の理解促進と気運醸成、性暴力のない社会を考える週間)
- ・被害者等への支援(総合的な相談体制の整備、早期発見・早期対応、被害者等への支援)
- ・性暴力のない社会の構築(性暴力の再発防止、性暴力のない環境の整備)

主な事業

- 孤立地域対策や避難所環境改善支援のための「いのちを守る防災・減災総合補助金(仮称)」創設(【新】334百万円)
- 「三重県性暴力の根絶をめざす条例(仮称)」に基づく周知・啓発等(【新】12百万円)
- SNS等に起因する犯罪の被害防止のため、ターゲティング広告による注意喚起(【新】45百万円)
- 沖繩「三重の塔」の苑内環境整備事業(【新】68百万円)

[R6:674億円→R7:778億円(前年度比104億円(15.5%)増)]

子どもの希望を育む

[R6:72億円→R7:91億円(前年度比19億円(26.3%)増)]

子どもたちが未来に希望をもって成長できるよう、変化の激しい社会の中でも自分らしく生き抜いていく力の育成や、子どもが豊かに育つ環境づくりをさらに進めます。

- 自分らしく生き抜いていく力の育成
- 子どもが豊かに育つ環境づくり
- 三重県誕生150周年

「三重県子ども条例」の改正 令和7年2月 議案提出予定

子どもを取り巻く環境の変化や、子どもの権利侵害が増加している状況を踏まえ、子どもの権利保障に向けた基本的事項を整備するために改正。「こども政策検討会議」を計6回開催し、子どもの意見を取り入れて策定。

【改正の視点】

- ・子どもの権利を守ることを正面から捉える
- ・子どもの健やかな育ちを支える多様な施策を推進する
- ・子どもに必要な情報を提供したうえで、意見を聴き、尊重する
- ・子育て家庭に寄り添ったさまざまな支援を実施する

主な事業

- 「三重県子ども条例」の改正をふまえた取組の推進・啓発(【新】41百万円)
- 子ども医療費の現物給付に係る市町補助の対象を中学生年齢の入院まで拡大(【新】193百万円)

産業の成長支援

[R6:421億円→R7:444億円(前年度比23億円(5.5%)増)]

産業の力強い成長に向けて、社会情勢の変化や気候変動に対応した産業振興に取り組みます。

- 成長産業の育成
- 農林水産業の生産性向上
- 環境変化へ対応した農林水産業
- 再生可能エネルギー
- 産業を支えるインフラ整備

主な事業

- 半導体関連産業の集積や投資促進(【新】23百万円)
- スタートアップ創出支援(【新】60百万円)
- 洋上風力発電に係る国の次期実証事業への応募を見据えたポテンシャル調査の実施(【新】5百万円)
- 真珠、青さのり、マハタ養殖における遺伝情報を活用した育種の実施、新魚種導入の検討(【新】30百万円)

観光・プロモーションの推進

[R6:26億円→R7:37億円(前年度比11億円(43.9%)増)]

「三重県プロモーション推進方針」に基づいて、世界に誇れる三重の豊かな地域資源を生かして、さまざまな主体と連携し、誘客促進や県産品の振興に取り組みます。

- インバウンド誘客
- 世界遺産 熊野古道を生かした誘客
- 戦略的な観光誘客
- 文化を生かしたプロモーション
- 多様な主体と連携したプロモーション
- 県産品のプロモーション

主な事業

- インバウンド誘客に関する戦略策定(【新】16百万円)
- インバウンドに対応した受入環境の充実への支援(【新】608百万円)
- 伊勢茶のブランド展開戦略の構築、海外プロモーションや関西茶品評会でのブランド価値向上に向けた支援(【新】15百万円)

人口減少対策の着実な推進

[R6:113億円→R7:134億円(前年度比20億円(17.7%)増)]

「三重県人口減少対策方針」に基づくさまざまな取組を進めて人口減少の緩和をめざすとともに、適応策を検討するなど効果的な取組を着実に進めます。

- ジェンダーギャップ解消
- 移住
- 自然減対策
- 公共交通の維持・確保
- 人口還流、賑わいの創出
- 調査・分析、適応策
- 行政サービスのDXの推進

主な事業

- ジェンダーギャップ解消に向けた戦略の策定(【新】4百万円)
- 家事代行サービス利用補助の促進(「みえ子ども・子育て応援総合補助金」R6:300百万円→R7:330百万円)
- 移住希望者のニーズや特性に応じたプロモーションの実施(【新】27百万円)
- 公共ライドシェアの導入など交通空白の解消に取り組む市町への支援(【新】130百万円)

人材確保対策の本格展開

[R6:42億円→R7:74億円(前年度比31億円(73.3%)増)]

企業等の活動にとって喫緊の課題となっている人材確保について、令和6年度に策定予定の「三重県人材確保対策推進方針」に基づき、全庁を挙げて対策を進めます。

- 働きやすい職場環境づくり、多様な人材の就労支援
- ジェンダーギャップ解消(再掲)
- 外国人労働者の受入体制の整備と多文化共生の推進
- 地域が求める人材の育成(リスキリング)
- 適正取引・価格転嫁、生産性向上
- 物流対策
- 学校における働き方改革と教員不足への対応(再掲)

三重県カスタマーハラスメント防止条例(仮称)の制定(時期未定)

近年、顧客や取引先からの暴力や悪質なクレーム等の著しい迷惑行為による被害が社会問題となっていることから、カスタマーハラスメントの防止に関する基本理念や県及び事業者等の役割を明らかにするため、条例を制定する。

【条例で定める主な項目】

- ・基本理念(カスタマーハラスメント行為の禁止など)
- ・カスタマーハラスメントの定義、対象とすべき範囲
- ・カスタマーハラスメント防止に向けた各主体の責務規定
- ・県の施策(指針策定、防止取組)

主な事業

- カスタマーハラスメントの防止に係る条例の制定、対策に取り組む企業支援(【新】22百万円)
- 移住や就職への関心がまだ高くない層に対する三重で暮らす・働く魅力の発信(【新】10百万円)
- 海外合同面接会による現地大学生等と中小企業とのマッチング機会創出(【新】40百万円)
- 短時間正社員制度等の導入・活用の促進(奨励金の支給、専門家による伴走支援等)(【新】33百万円)
- 物流事業者による女性・外国人等の多様な人材確保等の取組を支援(【新】5百万円)

※国の経済対策等を受けて一体的に編成する令和6年度12月補正(その2)(公共事業)・1月補正・2月補正(その1)予算と合わせて、8,714億円

※本資料の掲載事業には一部2月補正(2月補正その1)を含みます。